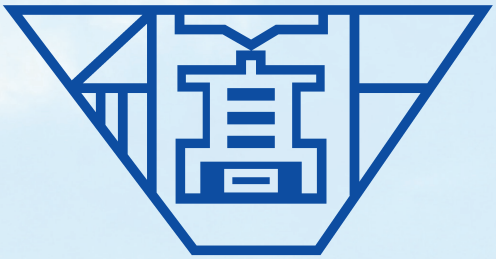


紀の川高校51年間の感謝



和歌山県立紀の川高等学校





校　章

校章の由来

学校前を流れる清流「紀の川」にちなみ、紀の川高校設立当時の和歌山県教育委員会の指導主事がデザインした。
〈高〉の両サイドに「紀の川」の〈紀〉と〈川〉を図案化し、まん中に〈高〉を配している。



校　旗

和歌山県立紀の川高等学校校歌（讃歌）

作詩　窪田　忠香
作曲　北原　雄一

一
遙かに流れる　紀の川のほとり
若人の声は　大日にこだまする
昼の鎚　夜のペン　拓かんこの世の幸
風雪の幾く年も　我が心のふるさと
ああ　紀の川高校　とこしなえに
とこしなえに　我が紀の川高校

二
漲る若さの　山脈はみどり
健児らの歌は　大江に虹を呼ぶ
労学の　雄々しさよ　励まし励みし友
青春の学舎は　我が心のふるさと
ああ　紀の川高校　とこしなえに
とこしなえに　我が紀の川高校

校歌（讃歌）

“校歌”（讃歌）の由来

歌詞は、開校の翌年、当時の校長が自分の教え子にあたり伊都高校定時制から紀の川高校に転勤してきていた教諭（窪田忠香氏）に依頼してできあがった。ところが、窪田は「自分の作詞を校歌とするにはおこがましい」と校長に申し出たため、“讃歌”とすることに決まった。

作曲は、和歌山県教育委員会の北原雄一氏（東京音楽学校出身）が担当した。

このようにして、無事、“紀の川高校校歌”（讃歌）ができあがった。その後、一番の歌詞の「風雪の四つ年（よつとせ）も」が「風雪の幾く年も」に変更され“紀の川高校校歌”となった。

目次

校章・校旗…… 2
校歌…… 3
校舎風景…… 4
歴代校長…… 6

挨拶

校　長　笠松　勝美…… 8
PTA 振興会長　中谷　保…… 9
同窓会長　上田　一男……10
ETA 会長　中谷　英昭……11
和歌山県知事　仁坂　吉伸……12
和歌山県教育長　宮下　和己……13
かつらぎ町長　井本　泰造……14

沿革

沿革（全般）……16
設立当初の動き・思い……18
紀通高報から……22
本校における単位制（紀の川方式）について…24

回想

紀の川への思い……28
学びの風景……34
紀の川への思い……38

紀の川のあゆみ

生徒支援に関する取組……56
生徒の文章……67
閉校を前にして……68
近景……72

資料編

学校行事写真集……76
閉校式……82
部活動の活躍……84
生活体験発表大会　文集……94
紀通高報…… 102
マンスリータイムズ（定時制）…… 108
マンスリータイムズ（通信制）…… 114
卒業生データ…… 120

編集後記

校舎風景



玄関



北校舎



1階渡り廊下



テニスコート・校舎



通信棟・体育館



職員室（定時制）



事務室



外階段



正門



体育館内部



中庭



新館



校舎（春）



校舎（夏）



校舎（秋）



校舎（冬）

歴代校長



初代 校長
中泉　益輝
（昭42.4～44.3）



第2代 校長
山本　正一
（昭44.4～49.3）



第3代 校長
森脇　義明
（昭49.4～52.3）



第4代 校長
団栗　勤
（昭52.4～55.3）



第5代 校長
宮川　栄龍
（昭55.4～59.3）



第6代 校長
鶴谷　昭
（昭59.4～63.3）



第7代 校長
田村　有功
（昭63.4～平3.3）



第8代 校長
山本　林
（平3.4～5.3）



第9代 校長
二澤　幸作
（平5.4～7.3）



第10代 校長
北田　貞行
（平7.4～9.3）



第11代 校長
松本　公望
（平9.4～11.3）



第12代 校長
永井　紀美男
（平11.4～13.3）



第13代 校長
藤谷　一也
（平13.4～15.3）



第14代 校長
谷脇　誠
（平15.4～17.3）



第15代 校長
笹田　義美
（平17.4～19.3）



第16代 校長
蛭間　俊雄
（平19.4～21.3）



第17代 校長
大東　雅幸
（平21.4～24.3）



第18代 校長
大浦　俊一
（平24.4～28.3）



第19代 校長
笠松　勝美
（平成28.4～30.3）